



お元気ですか 志村 たかよし です

都が提出したのは「黒塗りのデータ」

豊洲「土壌汚染処理実験」結果の情報開示で

東京都は3月10日に、今年1月末から行っていた「豊洲新市場予定地の汚染物質処理に関する適用実験」の「中間報告」を発表し、「確実に汚染物質を無害化できることが実証された」と宣言しました。

しかし、日本共産党都議団が入手した情報開示文書等によって重大な問題が明らかになりました。



私（志村）は、4月22日の築地市場等街づくり対策特別委員会で、この問題をとりあげました。

なぜ隠すのか？

初期値データが黒塗り

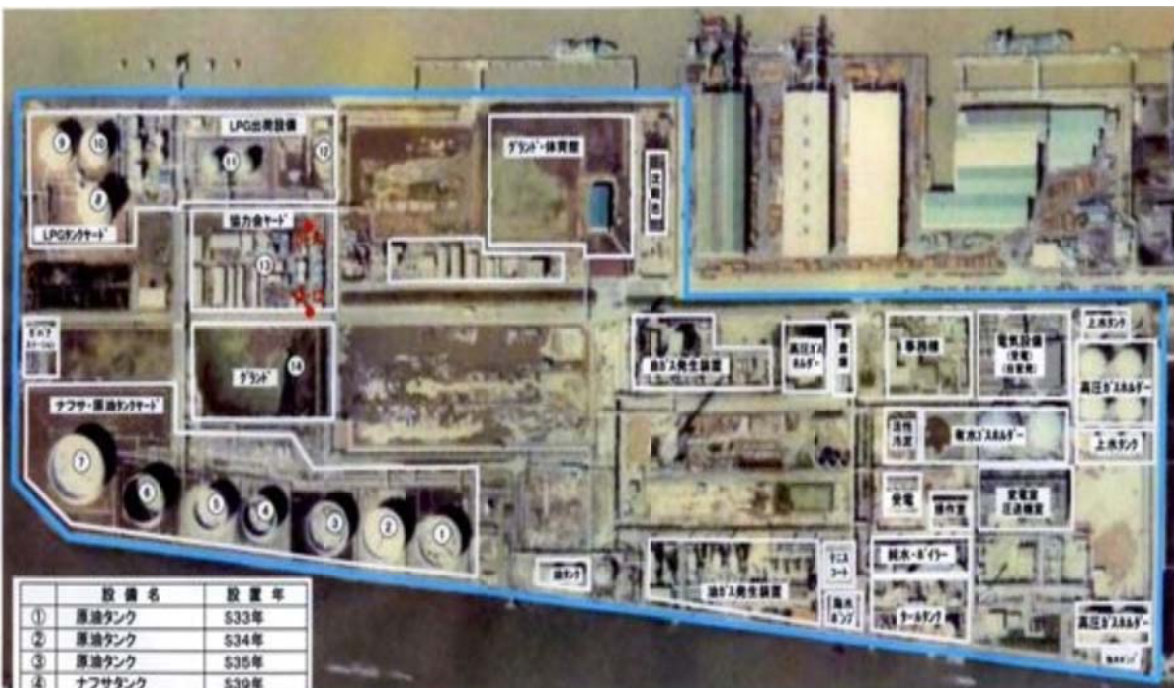
都が発表した「洗浄処理（シアン、ヒ素、ベンゼン）」の実験結果は、1回目、2回目の数値だけで、試験開始時の「初期値」が記入されていませんでした。

ところが、情報開示文書では、「初期値」が記入されているにもかかわらず「黒塗り」されていて分からないようになっていてのです（裏面参照）。

元になる初期値がなければ、どのくらい汚染されていた土壌が、1回目、2回目と洗浄されていたのか、わかるはずがありません。

なのに、都は「確実な無害化が可能」「土壌汚染対策の有効性が確認された」

と発表したのです。なぜ、黒塗りのしなければならぬのでしょうか…？



設備名	設置年
① 原油タンク	533年
② 原油タンク	534年
③ 原油タンク	535年
④ ナフサタンク	539年
⑤ ナフサタンク	539年
⑥ 原油タンク	542年
⑦ 原油タンク	543年

東京ガスの工場があった1979年頃の豊洲。タンクなどがよくわかります。

「実験」は信用できない

情報開示文書によると、「中温加

熱+洗浄処理」の1回目の実験結果

のデータは、委託業者の「中間報告」

で都「報告およびNO.1」(上の表)、

発表では「洗浄処理」と「中温加熱

処理」だけで(下の表)、「中温加

熱+洗浄処理」のデータが、なぜか

示されていないのです！

また「中間報告」として結果が発

表されたのは6種類・16地点の実験

のうち2種類・5地点にすぎません。

しかも、この5地点についても、

どのような条件や方法で得られた結

果なのか明らかにされていません。

にもかかわらず都は「確実に汚染

物質を無害化できる」とが実証され

ました」と発表したのでです。

最終結果は6月に発表すると言っ

ていますが、どうも信憑性が…。

調査会社が都に提出した実験結果の「中間報告」

情報開示文書では「黒塗り」に

表-2 中間報告一覧

工法	位置	調査時点の濃度 (mg/L)	試験開始時点の濃度 (mg/L)	3月9日時点の濃度 (mg/L)		指定基準適合項目 (○:適合)
				1回目	2回目	
洗浄処理	No. 7 (D12-2)	シアン: 17	■	0.1	< 0.1	○
	No. 8 (P29-4)	ヒ素: 0.62	■	0.075	< 0.005	○
	No. 9 (E11-1)	ベンゼン: 0.084 シアン: 0.2 ヒ素: 0.034	■ ■ ■	0.012 < 0.1 < 0.005	0.001 — —	○ ○ ○
中温加熱処理	No. 10 (G10-4)	ベンゼン: 430 シアン: 86	■ ■	0.003 < 0.1	— —	○ ○
	No. 11 (E20-7)	ベンゼン: 4.2	■	0.003	—	○
中温加熱処理 + 洗浄処理	No. 12 (D11-1)	ベンゼン: 40 シアン: 93 ヒ素: 0.013	■ ■ ■	■ ■ ■	洗浄処理 実施中	○ ○ ○
	No. 13 (O38-1)	シアン: 1.9 ヒ素: 0.17	■ ■	■ ■		○ ○

※油膜については精査中

都が公表した「中間報告」の上表と同じ部分

黒塗り部分をまったく除外しています

○洗浄処理:完了

処理方法	地点 No.	対象物質	環境確保条例などに基づく調査 mg/L	1回目 mg/L	2回目 mg/L
土壌 洗浄処理	7	シアン	17	0.1	<0.1
	8	ヒ素	0.62	0.075	<0.005
	9	ベンゼン シアン ヒ素	0.084 0.2 0.034	0.012 <0.1 <0.005	0.001 — —

○中温加熱処理:完了

処理方法	地点 No.	対象物質	環境確保条例などに基づく調査 mg/L	1回目 mg/L
土壌 中温加熱処理	10	ベンゼン シアン	430.000 86.0	0.003 <0.1
	11	ベンゼン	4.2	0.003

ブログを毎日更新しています。「志村たかよしワールド」と検索してごらんください。

意見、要望、お問い合わせは、お気軽に「連絡ください」(03-6363-0000)まで